

南予地域柑橘農業復興対策チーム第22回会議の概要

令和6年10月11日（金）13:00～
果樹研究センターみかん研究所及び現地

1 南予地域柑橘農業復興対策チームの活動方針について

- ① 復旧園地の営農支援に関すること
- ② 災害に強い園地づくりの推進に関すること
- ③ その他柑橘農業の復興に関すること

2 復旧園地の営農支援について

- 原形・改良復旧
 - R6年度に約2割の園地で収穫開始（32園地/142園地）
- 再編復旧
 - ・ 玉津地区：白浦工区、法花津工区ともにR7春 一部園地で植栽
 - ・ 立間地区：白井谷工区でR7春 一部園地で植栽開始
ツガノクチ工区でR6.9月工事契約締結
- 営農支援対策
 - ・ R5に工事完了した再編復旧「玉津地区」（白浦工区）で土壌改良実証中
 - ・ 復旧園地における植栽後の生育期間を短縮させるため、R6は玉津柑橘倶楽部が1,400本、JAえひめ南が750本のポット苗（2年生）を育苗中
 - ・ 再編復旧園地での収益向上等を目的に紅プリンセスの導入を推進

3 災害に強い園地づくりの推進について

水食防止工による低コストで取り組みやすい土壌流亡対策や作業性向上に向け、小規模な園地整備モデルを実証中

4 現地研修

- ・ 災害に強い小規模園地整備の効果について、モデル園地の実証状況を確認
- ・ 今年度から収穫開始される改良復旧園地【河内地区】の生育状況を確認



【園地の復旧状況や営農支援策等について協議】



【災害に強い小規模園地整備のモデル園地】



【再編復旧「玉津地区」(白浦工区)】



【今年度から収穫開始する改良復旧園地】